

ウサギとカメの トライ

原案／兼松由香

教材コンセプトシート

●主な対象

小学校5～6年

●ねらい

自分の特徴を知り個性を伸ばすとともに、友達と互いに信頼し、人間関係を築いていくこと。また、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努められるようになることなどを学ぶ。

●取り扱うテーマ・キーワード

多様性、尊重、助け合い、個性の伸長、友情、信頼、よりよい学校生活

教材活用ガイド

●いつ

- ・年度のはじめ
- ・学級開きや班編成直後
- ・夏休みなどの長期休暇明けなど

●指導・活動時間の目安

- ・特別活動・学級活動などで1時間など

●関連

道徳…「向上心、個性の伸長」「友情、信頼」
「よりよい学校生活、集団生活の充実」

特別活動…学級や学校における生活づくりへの参画

●工夫・協力

動物に例えた自己紹介を行う など

段階

学習活動

教材内容と指導上の留意点

※赤丸数字は縮小紙面と対応

導入 (10分)

【ウォームアップ】(5分) ラグビーのルールやポジションについての動画を視聴し、ラグビーについての基本的な知識を知るとともに、興味・関心を高める。

●活動1 (5分) 【1st TRY】自分を動物に例えて、自己紹介文をつくる。

●活動2 (10分) 【2nd TRY】『ウサギとカメのトライ』の物語を、登場人物の気持ちを考えながら読む。

●活動3 (15分) 【3rd TRY】物語を読んだことを踏まえて、考えたり話し合ったりする。
① [リオの仲間たちの気持ちになって] ボールを落としたリオにどんな言葉をかけるか (A)
② [初めてトライをしたヒカルの気持ちになって] リオになんと言うか (B)
③ [リオの気持ちになって] ②で考えたヒカルの言葉を聞いてどう思うか。

※時間があれば「プラス1」に取り組むとよい。

学級のために、自分の特長をどう活かすかを考える。

① 【1st TRY】で考えた自己紹介に、学級のために生かせそうな自分の特長を加えた自己紹介文を考える。
② グループでお互いに自己紹介をする。

まとめ (10分)

ウサギとカメのトライ
1
1st TRY
あなた自身を生き物に例えたら、次のどれに当たりますか？
自分のよいところを考えて、選んでみましょう。

2
2nd TRY
あるラグビースクールの物語です。メンバーの一人になった気持ちで読んでみましょう。
4
ヒカル
チヒロ

3
3rd TRY
物語を読んでどんな感想を持ちましたか？
次のことを考えたり、話し合ったりしてみましょう。
5
6
7
プラス1
学習を通して考えた「自分のよいところ」は、学級でどう活かしていけそうですか。

①日本ラグビーフットボール協会のウェブサイトで公開している。ホワイトリスト方式の場合は、事前に閲覧できるように準備しておくことよい。

②いくつかの動物を例に出し、それぞれによいところ(または他と違うところ)があることに気づかせる(例:チーター→足が速い、カメ→水の中で活動できるなど)。

- ・「よいところ」は、外見や身体能力だけでなく、内面的なこと(例:優しい)も含まれることを補足する。
・例示された動物以外を例示してもよい。

③導入で見たラグビーのルールを思い出しながらかよむとよい。

④登場人物の性別や国籍などの質問があった場合は、「物語からは読み取れない」ことを共有し、「ラグビーがみんなのスポーツ」であることを示唆する。
・文中の(A)(B)は、次の活動で取り扱う。

⑤自分が何か失敗したときにどのような言葉をかけられると安心するかを考える。

⑥リオにはヒカルの姿が見えなかったのに、なぜリオがパスをしたのかを考える。

⑦決して足が速くないヒカルがどうして足の速いリオを助けることができたのか、ヒカルのトライが生まれるまでの過程を想像する。

・初めに考えた自己紹介文は、ここまでの学習を通して変更してもよいことを伝える。

・他者が自己紹介をしているときに傾きながら聞いたり、終わったあとに拍手をしたりして、認め合える雰囲気づくりをする。

アフターマッチ ファンクション

原案／森健

教材コンセプトシート

●主な対象

小学校5～6年、中学校1～2年

●ねらい

自分と関わりのある人すべてがかけがえない存在であり、相手がいるから自分もいられることに気づき、その感謝や他者の尊重について、自らの思いの表し方、伝え方などを考えるとともに、実践的な態度を育む。

●取り扱うテーマ・キーワード

思いやり、感謝、公平、公正

教材活用ガイド

●いつ

- ・学校行事（体育祭など）のあと
- ・学期末や年度末など

●指導・活動時間の目安

- ・特別活動・学級活動などで1時間など

●関連

体育・保健体育…勝敗を受け入れる
道徳…「思いやり、感謝」「礼儀」「公平、公正、社会正義」など
特別活動…学級や学校における生活づくりへの参画

●工夫・協力

国語のスピーチの授業と関連させて取り扱う など

段階

学習活動

教材内容と指導上の留意点

※赤丸数字は縮小紙面と対応

導入 (7分)

【ウォームアップ】(2分)
アフターマッチファンクションについて知る。

●活動1 (5分)

【1st TRY】自分がみんなの代表として挨拶をするとしたら、どんなことを話すかを考える。

●活動2 (15分)

【2nd TRY】『試合ではこんなことがありました』の4コマの絵と説明文を見て、話し合う。

- ①試合直後の気持ちを想像しながら考える。
②考えたことを、グループ内などで交流する。

※相手(勝った方)のスピーチを考えるグループとに分けるなどして、「プラス1」に取り組むのもよい。

●活動3 (10分)

【3rd TRY】ノーサイドについて知る。
ノーサイドの動画(1分程度)を見てから、各自やグループなどでノーサイドについて調べる。

これまでの自分を振り返るとともに、本時の学習を生かしてこれからできそうなことを考える。

まとめ (13分)

ラグビー教材②
アフターマッチファンクション
アフターマッチファンクション (After-match Function) とは...
1 1st TRY
試合の前、どんなあいさつをするか、ある程度考えておくことにしました。話すときと聞くと、聞きたくてもよいと思うことを選んでみましょう。

2 2nd TRY
試合が終わる、まもなく「アフターマッチファンクション」が始まります。試合ではこんなことがありました。
①「試合の勝敗」を聞き取ることができた!
②「試合の勝敗」を聞き取ることができなかった!
③「試合の勝敗」を聞き取ることができなかった!
④「試合の勝敗」を聞き取ることができなかった!

3 3rd TRY
ラグビーの文化の一つとして、日本を中心に広まった「ノーサイド」の考え方や振る舞いがあります。どんなことでしょうか。
【ノーサイド】の考え方や振る舞いについて調べて、とてもよいと思った事例を挙げてみましょう。どんなところがよいと思ったか、その理由も書いてみましょう。

①これまでにスピーチや代表で挨拶した経験があればそれを思い出したり、試合やコンクールで悔しい思いや満足できなかったときを思い出したりするとよいことを伝える。

②人前で話すことが苦手だったり、経験がなくて考えるのが難しい場合でも、例示を見ながら想像できるようにする。

③特に4コマめの表情や、周りの人の言動などから、試合後の気持ちを読み取るようにする。

④主人公になったつもりで、試合終了直後にはどんな気持ちになりそうかを考えるとよい。

・小学校体育科運動領域の「学びに向かう力、人間性等」では、「勝敗を受け入れる」ことが示されている。中学校保健体育科体育分野では、「勝敗を受け入れる」などのよい取り組みを他者に伝えることが例示されている。

⑤1st TRYで考えたことも踏まえてスピーチを考える。

・この段階では「スピーチできない」という回答も許容する。

⑥他の人のスピーチ案を聞いて、考えが変わったり、自分と異なる考え方に気づいたりしたことをメモする。

⑦インターネットなどを用いて、ノーサイドについて調べる。事例やエピソードなどを探そうにするとよい。

・試合後の場面は、相手を「同じゲームを楽しんだ仲間」として認めている様子であること、相手の健闘を讃えていること(「ノーサイド」はそれを表す言葉)であることに触れる。

・他の人のスピーチ案で参考になったことやノーサイドのエピソードなどもまじえて考えるように促す。

・具体的な場面を想定して、そのようなときには今後どのように振る舞いたいと思うかを考えさせてもよい。

ラグビーと ともに生きる

原案／加藤真也

教材コンセプトシート

●主な対象

小学校5～6年、中学校1～3年

●ねらい

ワークライフバランスをはじめ、ウェルビーイングを目指して多様な働き方と生き方が大切にされる時代において、仕事とラグビーを相乗的に向上させている人の事例を基に、より豊かな生き方について考える。

●取り扱うテーマ・キーワード

ウェルビーイング、ワークライフバランス、健康で豊かな生活、よりよく生きる喜び、自己啓発

教材活用ガイド

●いつ

- ・「キャリア・パスポート」の作成前
- ・進路指導の前後
など

●指導・活動時間の目安

- ・特別活動・学級活動などで1時間
- ・総合的な学習（探究）などの導入
など

●関連

保健体育…スポーツへの多様な関わり方、
スポーツの多様な楽しみ方 など
道徳…「向上心、個性の伸長」「勤労」「よりよく生きる喜び」など

●工夫・協力

キャリア教育の題材として扱う、地域の同様に活躍している人の協力をあおぐ
など

段階

導入 (7分)

展開 (20分)

まとめ (18分)

学習活動

教材内容と指導上の留意点

※赤丸数字は縮小紙面と対応

【ウォームアップ】(2分)
今回の事例にあたるデュアルキャリアについて知る。

●活動1 (5分)
【1st TRY】仕事をしながらスポーツを続けている人は、その生活にどんな魅力や意義を感じているか、想像する。

●活動2 (20分)
【2nd TRY】インタビュー記事を読む。

※ぜひ時間をとって、「プラス1」に取り組むとよい。

4 | 2nd TRY 三浦 新輔さんにインタビューをしました。読んで、感動したこと、大切に思ったこと、ほかの人に伝えたいと思ったことを書き引いてみましょう。
Q1 どんなお話を聞いていますか?
Q2 ラグビーはどのくらいおもしろいのでしょうか?
Q3 とても大変と思いますが、どうして続けることができているのですか?
Q4 ラグビーでつかった精神とは、どんなものですか?

ラグビー教材③
ラグビーとともに生きる
デュアルキャリア
ウォームアップ
1st TRY
2nd TRY

5 | Q5 他にもラグビーでつかった精神が生かせることはありますか?
Q6 原則に、仕事でつかったことでラグビーに生かせることは、どんなことですか?

プラス1! ラグビー憲章について、調べてみましょう。
【地位・結束・情熱・規律】の5つの価値は、選手、指導者、トレーナー、メディア、ファン、スタッフ、関係者、ファンなど、ラグビーに関わる全ての人々に共有してほしい価値観です。
3rd TRY
まとめ方の例

①小中学生では、スポーツ選手といえば、テレビで見られるようなプロの選手や競技しか思い浮かばない場合も多い。この教材を通して、スポーツを続けながら他の仕事に従事するなど、さまざまな関わり方で、好きなことを大切に生きていく人が多くいること、そのように生きることができると気づけるとよい。

②地域で同様の活躍をしている人がいる場合は、その方に協力をお願いしてみるのもよい。

③探究的な学習の進め方を念頭において、事例的に進めるとよい。

④インタビュー記事を、直感的によいと感じた言葉や繰り返し出てきた言葉などに線を引きながら読む。

⑤ラグビー憲章について、意識して読むようにする。

⑥グループ内やクラス全体への発表などでラグビー憲章への関心を高めつつ、インタビューへの感想を交流する。

⑦A4用紙1枚やプレゼンテーションソフトなどを用いて、まとめ、まとめ。その際、他の人に伝わるようにまとめることを意識する。

⑧同まとめを用いて、将来について想像し、仕事とそれ以外の時間をどう使うかなどにも広げて考えてみる。

⑨同様の(または異なる)テーマを基に、インタビューしてみたい人を想定したり、実際に協力を求めるためにどうするかなどを考えてみるのもよい。